

令和3年度 第1回 燕市生涯学習推進協議会 会議録（要旨）

日 時 令和3年8月5日（木）午後2時～3時30分
会 場 燕市民交流センター 3階 多目的ホール
出席委員 金子彰男委員、小林徹哉委員、田野正則委員、中島純委員、福田智子委員、
松井隆司委員、宮路美也子委員、柳原康浩委員
欠席委員 石附行子委員、小野塚美鈴委員、田公美知子委員、水野晶子委員
事 務 局 燕市教育委員会 山田教育長、太田教育次長
社会教育課 石田課長、石黒課長補佐、本間副参事、酒井副参事、田中係長
石村係長、関根主事
学校教育課 今井主任指導主事
地域振興課 外山主事
報道機関 なし
傍 聴 者 なし
議 題 報告

(1) 燕市生涯学習人材バンクの令和2年度実績について
協議

(1) 第2次燕市生涯学習推進計画における令和2年度の成果指標の実績値と令和3年度の目標値について

- ① 輝くつばめを担う子どもの育成
- ② 多様な学習ニーズに応える学習機会の充実
- ③ ふるさと燕の芸術文化活動の振興
- ④ 生涯スポーツの推進と健康づくりの推進
- ⑤ 生涯学習社会を支える環境づくり

(2) 第3次燕市生涯学習推進計画の策定について

- ① 策定スケジュール
- ② 市民意識アンケートについて

[以下、会議録（要旨）]

報告

(1) 燕市生涯学習人材バンクの令和2年度実績について 《事務局説明》

○委員

今ほどの説明の資料2-1の生涯学習人材バンクの中で、主なメニューはほかにもあると思う。「文化、教養、趣味」の欄に、偶然にも2つスペースが空いている。例えば、私の関係しているカラオケやコーラスも生涯学習の中には必要かと思うが、こういったパンフレットで周知するために追加できないものか。

○事務局

こちらは主なメニューということで、選んで掲載しているものであるため、改めて精査のうえ、改良を加えていきたい。

協議

(1) 第2次燕市生涯学習推進計画における令和2年度の成果指標の実績値と令和3年度の目標値について

① 輝くつばめを担う子どもの育成

《事務局説明》

(委員からの質問なし)

② 多様な学習ニーズに応える学習機会の充実

《事務局説明》

○委員

大学の図書館もそうだが、これを機に紙の本からデジタル書籍を導入していこうという方針に変えていったところがある。特に電子書籍は障がい者のバリアフリー化に良い。ちょうど今年は今まで努力義務だった障害者差別解消法が法定義務化された。そういったことで本学でも令和2年度、令和3年度で電子図書館・電子書籍化を図っている。燕市の状況はどうか。

○事務局

電子書籍化というところで、燕市においても電子図書館を導入させていただいている。令和3年2月2日に供用を開始し、令和2年度3月31日までの実績で、かなりご好評をいただき、のべ3,644人に方から本を借りていただいた。

③ ふるさと燕の芸術文化活動の振興

《事務局説明》

○委員

令和2年度はこのような状況で項目すべてに×がついていたが、これは燕市に限ったこ

とではない。新潟市でも全く状況は一緒で、公民館祭りや芸能発表会がことごとく中止となり、登録団体も減っている。気にかかるのは、ひとたび減ったものが再び戻ってくるのかということ。担当の職員の方はすごく懸念されていると思う。令和2年度と令和3年度では多少変わってきている部分はあると思うが、登録団体や入館者数で回復傾向はあったか。

○事務局

令和2年度と比較すると、令和3年度は若干、入館者数の戻りが見られる。先ほど説明を失念してしまったが、産業史料館の入館者数については、令和2年度からマイクロツアーリズムの流れがあり、修学旅行で県内の学生にたくさん使っていただいた。こちらの傾向が今年も継続しているようで、そういった明るいこともある。

④ 生涯スポーツの推進と健康づくりの推進

《事務局説明》

○委員

軒並み×印で未達成が多い中、◎が2つある。健康づくりマイストーリーと社会教育関係団体が増えているが補足できるか。

○事務局

初めに、健康づくりマイストーリーについて、こちらはどこかに参集して何かをするというイベントだけではない。個々で普段やっていることをポイントにして、楽しみながら健康を維持していこうという取組であるため、◎に達したのではないかと考えている。

社会教育関係団体の登録数について、なかなか団体活動ができない中で増加したのは、令和2年度から社会教育施設の使用料が発生することとなった。社会教育団体に登録して活動している団体には使用料を減免するといった特典があるため、登録数が若干増加したと考えている。

⑤ 生涯学習社会を支える環境づくり

《事務局説明》

○委員

9ページ(2)の2段目、生涯学習人材バンク登録人数の中で、令和2年度の目標及び実績は85人ということで、達成率100%の◎ということは理解した。令和3年度も85人という目標を掲げているが、左側の令和4年度になると4分の1の20人に減っている。何か意味合いがあって減っているのか。

○事務局

令和4年度の指標が非常に低いということだが、計画を策定した当初の目標数値であり、修正していない状況となっている。こちらの計画目標値は計画策定時のものを落とし込んでいくというところでご理解いただきたい。

○委員

当初の目標が 20 人ということは理解できるが、あくまでも来年度の目標は 85 人でよろしいのではないか。当初はそうかもしれないが、資料として来年も現状の 85 人を維持していきたいということで修正したらいかがか。

○事務局

あくまでも最初に計画をつくった時が 20 人ということです。3 年度も 4 年度も、もちろん 20 人ではなく 85 人であるとか現実に則した目標でさせていただきたい。

○委員

説明がないとなかなかわからない。当初計画目標値というふうに今の段階で決めた数値ではないということを説明がなくても分かるようにしていただいたほうが親切である。

○事務局

注釈をつけさせていただく。

○委員

コロナ禍でありながら 1 つ目の学習支援者育成スキルアップ講座の参加者が伸びを示し、達成率 257%で◎がついている。また次の、人と地域をつなぐ学びの推進でいうと、つばめ若者会議の参加回数がこのコロナのご時世、自粛が続く中で 9 回という実績を示した。このあたり補足をお願いしたい。

○事務局

つばめ若者会議による地域活動参加回数の大幅な増加について、こちらの指標は、つばめ若者会議に参加している若者たちが地域の企業や団体と共同して事業を実施した回数となっている。昨年度大幅に増えた要因としては、大河津分水通水 100 周年の流れでできた新潟経営大学の取り組みや市内企業との取り組みを行ったこと、地元の高校生がまちづくり活動に気軽に参加できる取り組みとして、昨年度から「燕市役所まちあそび部」という新たな取り組みを始めたことが挙げられる。今現在メディアにも多く取り上げていただいているが、そういった流れの中で市内の企業や地域の協議会と事業を経た結果、コロナ禍でも多くの活動ができたと思う。

○事務局

学習支援者育成スキルアップ講座参加者数の指標は、中央公民館の夏休み子ども教室で講師の先生の助手をするボランティアの参加者数である。例えば「風の子くらぶ」に来てくださったボランティア、切り絵教室を補助するボランティアが該当する。昨年度はボランティアが多くいらっしまったということでこの数字となっている。

○委員

10 ページの(4)学習ニーズに即した生涯学習関連施設の機能の充実ということで、3 つ目の項目であるボランティアによるパソコン講座の受講者数は※4 にあるように平成 30 年度末で事業を終了しているため数字があがっていない。第 3 次に向けた課題ということで指摘しようと思うが、これから高齢者の社会的な孤立が進む。単身者が増え、そうしたときに、今後、高齢者が情報弱者化する。情報格差社会化が進行していく中で高齢者が取

り残されるという状況は燕市でも出てくると思われる。誰一人取り残さない持続可能性を担保するところで、廃止になったものの見直しというか、学びのセーフティネットを今後どう構築していくかが次期の推進計画に向けた課題になると思う。

○事務局

今の件で補足させていただきたい。今年度、高齢者向けのスマホ講座を試しに始めたところである。ワクチン接種の予約がなかなかできないという声もあり、必要性を感じた。結構人気を得ており、今後も継続して実施したいと考えている。

○委員

学習サービスだけでなく行政サービス全般にアクセスできなくなる危惧があるので、ぜひそうしたことで支援させていただきたい。

(2) 第3次燕市生涯学習推進計画の策定について

①策定スケジュール、市民意識アンケートについて

《事務局説明》

○委員

調査対象を20歳から18歳にした理由を教えてください。

○事務局

成人の年齢が18歳になること、他の計画も18歳からということで、全体的な統計をとるためにも18歳からとさせていただいた。

○委員

平成26年度の表で見ると問6-5の施設の話について、別の質問で対応できるとの話だったが、資料を見ても分からないのだがどこでわかるのか。

○事務局

どこの施設を使っているかではなく、どういった場で活動しているのかを聞くことを意図しており、場所そのものを聞くような問いは今回削除した。ボランティアでやっている、カルチャースクールに行っているというような回答をすることができる質問がちりばめられているので、そちらでフォローできると考えた。会場を聞いたほうが良いということであれば、設問を復活したいと考える。

○委員

イメージとしては、施設というより、どういうところでということをも重視しているというお話だと感じた。簡単に復活すると大変だと思う。

○委員

「検討する」のほうがいいのではないか。

○委員

ボランティアの質問を削除されたというのは多少の理解はできるが、生涯学習におけるボランティアの考え方の質問と、他の計画におけるボランティアに関する質問とでは、

果たしてうまく使えるのか。そのまま数字を持ってくることはないと思うが、他と同じ「ボランティア」だからいいやということでは大丈夫なのか懸念がある。このあたりを、地域福祉計画の内容と比較して考えていただいて、精査をお願いしたい。

また、平成 26 年度の時の調査と今回の調査項目がだいぶ違うとなると、従来、調査関係というのは、現状がどう変わってきたのかを見るものであるため、項目が合わないから整理したということで良いのかどうか。安易によくあるからというだけで削除は疑問があるため、要望としておく。

○委員

平成 26 年度の時にこのアンケートが来た。その時はっきり言って見た瞬間にうんざりした。全く書く気も起きず、出す気にもなれなかった。でも今回のアンケートはちょっとコンパクトにまとまっている。もっと減らしてもいいぐらいの気持ち。これは一般人の意見としてで、ここで精査するような話ではないが、ただ自分の意見としては、コンパクトのほうが答えやすいし取り組みやすいというのはある。今回のものはとてもよくまとまっていると感じた。

○事務局

まず、ボランティアに関する設問の精査については、他計画の担当部局とも協議の上、検討させていただきたい。当初計画の策定時は、かなり生涯学習ボランティアということが盛んに言われた時代だった。近年は指導者をフォローするボランティアも増え、意識もだいぶ変わってきているのかなという部分がある。そのあたりも踏まえて福祉担当と精査を検討したい。

また、こういった計画においてアンケート調査の経年を見ていくというのはまさに委員のおっしゃるとおりであり、経年見たほうが良いかどうかについても再度内部で検討させていただきたい。

○委員

問 6-1 について 26 年度の時は 1 番で自治会・女性団体・PTA・子ども会などの地域活動、2 番でボランティア活動に関する文言を入れているが、令和 3 年度(案)ではボランティアの文言が削除されている。ボランティア活動の部分は先ほどの説明を聞いてわかったような気がするが、自治会・女性団体・PTA・子ども会などの地域活動が削除されている理由がよくわからない。次ページの間 6-6、令和 3 年度(案)でいうと問 4-5 の 6 番で自治会・女性団体・PTA・子ども会などの地域活動で活用という文言が記載されているが、令和 3 年度(案)の間 4-1 で自治会・女性団体・PTA・子ども会などの地域活動を削除した理由の説明をお願いしたい。

○事務局

令和 3 年度(案)の間 4-1 は、「学習活動をおこなった内容を教えてください」という内容であり、学習活動を行った内容、何を学んだかについて問う設問なので、ここで、「自治会・女性団体・PTA・子ども会などの地域活動」や「ボランティア」という回答はそぐわないと考え、削除させていただいた。

3 ページの間 4-5 は「学習活動をおこなったことをどのように活用しましたか」という、

学習した成果を活用する場を問うものであり、こちらについては学んだことを PTA 活動や地域活動等で発揮することは非常に良いことであるため、選択肢に残っているという形になっている。

○委員

ボランティアをする際にもボランティアをする側の心得というものがあり、やはりマナーというものがある。ボランティアについて学ぶこともあると思うが、ただ回数も多くなからここでは削除したいということなのか。

○事務局

先ほどの説明が足りなかった部分があり、わかりづらかったと思う。平成 26 年度のアンケートの時は、「学習や活動」ということで、活動についても問うわかりづらい設問だった。学習と活動がどういう切りわけであるのか不明瞭であったため、今回のアンケートでは学習活動という、あくまでも、どういうことを学ぶのかというところを中心とした。確かにボランティアのマナーが必要なこともあると思うが、どういうことを学ぶのか、学んだことをどこで活用するのかということが問 4-1 になるので、そのように整理させていただき、削除したもの。

その他

○委員

1 点だけ議事録の関係で話をする。議事録を重視されていると思うが、残念ながらホームページには昨年のもので掲載されていない。前回の会議のことは評価されているのかどうか、きちんと見たうえで次の会議を目指すということが当たり前かと思うので、ご検討いただきたい。

○事務局

議事録を皆さまからご覧いただいた後、掲載を保留したままとなっており、今現在掲載していない状況。早急に掲載させていただく。

また、昨年度の協議会の結果や、いただいたご意見についても、今回の会議に向けての検討材料とさせていただきます、この協議会に活かしている。今回も、皆さまのご意見を踏まえ、第 2 回の協議会にも活かしていきたいと考えており、また改めてご忌憚のないご意見をいただいて、そのご意見をもとに、より良い協議会にしたいと思っている。

閉会